

(参考)

(公開資料)

令和3年度教育・保育定員と利用児童数(実績)

(単位:人)

令和3年度		3号		2号	1号	合計
		0歳	1・2歳	3~5歳		
実績値	①利用定員数 (給付対象施設分)	147	570	906	1,540	3,163
		1,623				
	②利用児童数 (給付対象施設分)	155	612	1,032	1,330	3,129
		1,799				
③過不足(①-②)	-8	-42	-126	210	34	
	-176					
④利用定員超過率(②÷①)	105.4%	107.4%	113.9%	86.4%	98.9%	
	110.8%					

令和4年度教育・保育定員と利用児童数(見込み)

(単位:人)

令和4年度		3号		2号	1号	合計
		0歳	1・2歳	3~5歳		
見込み値	⑤利用定員数(案) (給付対象施設分)	147	581	928	1,665	3,321
		1,656				
	⑥利用児童数(見込) (給付対象施設分)	100	615	1,000	1,505	3,220
		1,715				
⑦過不足(⑤-⑥)	47	-34	-72	160	101	
	-59					
⑧利用定員超過率(⑥÷⑤)	68.0%	105.9%	107.8%	90.4%	97.0%	
	103.6%					

【説明】

- ・②利用児童数は、令和3年10月1日時点の実績数を計上しています。
- ・⑥利用児童数は、令和4年4月1日時点の見込数を計上しています。令和4年度中に出生する児童(0歳児)は含めておりません。
- ・①、②、⑤、⑥には、幼稚園(私学助成)や認可外保育施設(企業主導型の地域枠含む)、市立へき地保育所の児童数は含めておりません。
- ・⑤⑥の1号が、①②の1号と比較して増加しているのは、幼稚園(私学助成)から給付対象施設に類型変更する施設が1園あるためです。
- ・③、⑦の2・3号に不足が生じておりますが、定員の120%を弾力枠として受け入れることが可能であり、国の基準における待機児童は生じておりません。